

令和7年度食育推進に係る県の取組

			事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名
①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	(1)家庭における食育の推進	1	歯科疾患予防推進事業	幼児の口腔に関する正しい知識の普及 ※よく噛んで食べる習慣をつけるため、一口30回噛むことを目標とした「カミング30」についての実践を促進	子供のむし歯予防や食べる機能について記載した「乳幼児のためのむし歯予防ハンドブック」を市町村を通じて妊婦や乳幼児の保護者に配付(通年)	子供のむし歯予防や食べる機能について記載した「乳幼児のためのむし歯予防ハンドブック」を市町村を通じて妊婦や乳幼児の保護者に配付(通年)	健康推進課
		2	「早ね・早おき・朝ごはん」実践	規則正しい就寝・起床の習慣や朝ごはんの大切さについて、県内の小学生、保護者に対して情報を提供	・「早ね・早おき・朝ごはん！」ガイドブックをPTA新任役員等研修会にて参加者に配布。 ・保幼小中学校等からの要望に応じて「早ね・早おき・朝ごはん！」ガイドブックを配布。(4/8ポッポ保育園、7/1大野小学校に送付) ・県政おはなし講座「早ね、早おき、朝ごはん」において、保護者および児童を対象に、朝食の重要性を説明。ガイドブックを配布し、家庭で実践できる工夫を紹介。(5/22有田振興局、7/1日方小、10/4印南小)	・「早ね・早おき・朝ごはん！」ガイドブックを、来年度小学1年生になる県内のこどもに配布。また、県立図書館や市町村立図書館及び児童館等親子で利用する機会の多い施設への設置依頼。さらに健康局健康推進課を通じ各市町村の子育て世代包括支援センターへ設置。 ・専門講座等において、訪問支援の際に保護者との話題づくりにガイドブックを活用することの協力依頼。	生涯学習課
		3	育児期の親が集まる場を利用したワークショップ	乳幼児の親が集まる場(乳幼児健診等)を活用し、乳幼児に対する健全な食習慣を始めとした生活習慣やその親の生活習慣予防について実践的な学習の機会を提供	対象:乳幼児を育てる親 主催:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:15回 参加者数:317名	対象:乳幼児を育てる親 主催:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:12回 参加者数:254名	健康推進課
		4	地域・職域おやこ食育教室	育児期の親とこどもの適正な食習慣の定着をめざした食育講習会を開催	対象:乳幼児の子供と親 委託団体:和歌山県食生活改善推進協議会 回数:24回 参加者数:679名	対象:乳幼児の子供と親 委託団体:和歌山県食生活改善推進協議会 回数:4回 参加者数:203名	健康推進課
	(2)学校、幼稚園、認定こども園、保育所における食育の推進	1	食育研修会	就学前の幼児の健全な発育及び健康の維持・増進を図るため、保育所や幼稚園、認定こども園等の食育担当職員に対し、食育推進への認識を深めることを目的に、食育に関する研修会を開催	実施日、会場及び内容 日付 令和7年11月24日(月) 会場 Web開催 内容 アレルギーの理解、アレルギー疾患の理解について	実施日、会場及び内容 日付 令和8年1月31日(土) 会場 Web開催 内容 食と子育て、食育計画の作成と活用について 子ども食堂について	こども未来課 義務教育課
		2	歯科疾患予防推進事業(再掲)	児童に対し、口腔に関する正しい知識の普及と実践につなげるため、小学校等において出前教室を開催 ※よく噛んで食べる習慣をつけるため、一口30回噛むことを目標とした「カミング30」についての実践を促進	対象:小学生 参加者数:4校206名	実施なし	健康推進課
		3	「小・中・高から始める生活習慣病予防」出張講座	児童・生徒の段階から取り組む生活習慣病予防等に関する知識を習得させるため、二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会から専門知識を有する者(医師、歯科医師、薬剤師、保健師、管理栄養士等)が学校に出向いて講義を実施	対象:県内の小学校・中学校・高校の児童・生徒・教員・保護者 主体:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:39回 参加者数:2,202名	対象:県内の小学校・中学校・高校の児童・生徒・教員・保護者 主体:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:14回 参加者数:1,004名	健康推進課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名	
①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	(2)学校、幼稚園、認定こども園、保育所における食育の推進	4	梅干しで元気！！キャンペーン	県内小学校及び特別支援学校の児童・教職員を対象に、日本古来の代表的な加工食品であり、県特産品である「梅干し」の歴史、生産方法や機能性等を理解し、より一層身近なものとして食する習慣を養うことを目的に、啓発キャンペーンを実施	実施時期：令和7年10月 対象：県内小学校、特別支援学校の児童及び職員 主催：県、県教育委員会、県漬物組合連合会 実施内容： ・「梅と梅干しについての出前授業」及び「梅干し贈呈式」(7校) ・学習資料「梅と梅干しのお話」の配付(全小学校及び特別支援学校) ・県産梅干しの提供(全小学校及び特別支援学校)		鳥獣害対策課
		5	農業改良普及総合推進事業(農業教育推進事業)	学校等に対して、地域の農業者等と連携し、農業体験学習等の機会を設けることで、学童等の農業と食に関する理解促進を図る	児童等を対象に農作業体験や農業に関する講義を実施した。 実施校数37校(小学校30校、中学校4校、保育園等3校)	児童等を対象に農作業体験や農業に関する講義を実施した。 実施校数2校(小学校2校)	経営支援課
		6	青少年水産教室	漁業関係者(漁業士、漁協青年協議会等)と県水産業普及指導職員が連携して、漁業に関する体験学習や漁具、漁法について講義、漁港での見学、稚魚の放流等の実施	・12月末までに30件、園児、児童1,038人を対象に実施	3月までに小・中学校4校、児童118名、こども食堂にて約50名を対象に実施。	水産振興課
		7	「魚の骨を知って、楽しくおいしく食べよう」	子供たちに魚の骨自体に興味を持たせ、骨付き魚を好きになってもらうための出前授業等を実施	・12月末までに小学校25校、児童1,027名を対象に実施。	2月までに小学校6校、268名を対象に実施。	水産振興課
		8	学校給食用牛乳への理解醸成	和歌山県牛乳協会と連携して、小学生を対象に牛乳・乳製品等に対する理解と関心を高めるための取組を実施 ・小学生を対象とした「出張！県政おはなし講座」の開催	「出張！県政おはなし講座」の実施 実施回数：6回(7/30、8/7 2回、8/20、8/21、8/25)	実施なし	畜産課
		9	栄養教諭を中核とした食育の推進	学校の栄養教諭が中核となって、各地域において、食育推進の取組を強化	栄養教諭が、所属校及び他校で食育推進の中核となり、地域の実状に応じた食に関する指導を計画的に行うことができるよう、年度初めに年間計画を作成し、実施	引き続き、栄養教諭が、各地域において学校における食育推進の中核として、計画に基づいた食に関する指導を実施するよう働きかけた。	健康体育課
		10	紀州わかやま食事バランスガイドの普及啓発	若い世代を対象に紀州わかやま食事バランスガイドを普及啓発し、栄養バランスのとれた食生活への理解促進に繋がる取組を実施	・教材作成についての検討会を開催(6月16日、7月17日 計2回) ・クリアファイル等教材4点と教員向け指導要領を作成し、県食育月間の10月に合わせて配付 ・栄養教諭、家庭科教諭等により、授業で活用	引き続き、教諭により授業等で活用	果樹園芸課
		11	学校給食での和歌山産品利用拡大戦略アクションプログラム	県産農林水産物の使用割合を増加させるための取組を実施 ・安定した供給体制の確立 ・和歌山県産農水産物の提供 ・学校給食向け加工品の開発と県産品斡旋物資の拡大	○安定した供給体制の確立 各市町村に働きかけ、取組の拡大を図る ○学習活動の教材としてうめを提供 うめジュース作りの実習、授業を実施 6月5日～6月18日 224校に提供 ○学校給食への提供 ・ジビエ：11月7日～12月15日 15校に各1回提供 ○学校への出前授業の実施 ・ジビエ：計8回(11月 4回、12月 4回) ○学校給食への鯨肉の提供 ・県内小中学校等319校を対象に、11月4日より提供を開始 ・12月末までに県内小中学校等172校を対象に提供済	○安定した供給体制の確立 引き続き、各市町村に働きかけ、取組の拡大を図った ○学校給食への提供 ・ジビエ：1月14日～2月18日 9校に各1回提供予定 ○学校への出前授業の実施 ・ジビエ：1月～2月に7回程度実施予定	畜産課
		11	学校給食での和歌山産品利用拡大戦略アクションプログラム	・県産品・ジビエの給食現場への導入支援 ・「わかやまジビエ」の安全・安心の理解促進	保護者と一緒に給食を食べる機会にわかやまジビエを提供し、理解促進を図る「親子DEジビエ」を2校で実施	「わかやまジビエ」に係る資料をホームページに掲載し、学校及び保護者等へ啓発	健康体育課
		12	食育実践地域活動支援事業	第4次和歌山県食育推進計画に基づき、地域特性を活かした体験や交流等を通じ、県民自らが食について判断できるようにするための食育推進事業を実施	(事業実施主体) 一般社団法人和歌山県調理師会、公益社団法人和歌山県栄養士会、和歌山県漁業士連絡協議会、株式会社フーズファイル、伊都地方農業振興協議会、社会福祉法人泉新会、学校法人白鳩学園あやの台幼稚園	引き続き実施	果樹園芸課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名	
①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	(3)地域における食育の推進	1	地域における日本型食生活等の普及促進	県民のバランスのとれた食生活の実現、地産地消・地域食文化への理解促進を図るため、「食生活指針」や「～紀州わかやま～食事バランスガイド」等を活用した啓発事業を実施	○食事バランスガイド実践講座の開催 日時:令和7年5月20日 場所:和歌山大学 参加者:経済学部 学生 約230名 ○食育普及啓発イベントの開催・出展 ①食育・健康イベント(開催) 日 時:令和7年10月13日 場 所:スーパーセンターオークワ パームシティ和歌山店 内 容:栄養士による食事指導 野菜の重量(350g)当てゲーム 参加者:一般県民約100名 ②野菜フェスタin WaKaYaMa2025(出展) 日 時:令和7年11月9日 場 所:和歌山県立医科大学薬学部 内 容:野菜折り紙 参加者:約50名	実施なし	果樹園芸課
		2	青少年の家における取組	青少年の家において、地域に伝わる食品作りや野外炊飯等の過程を通して、食文化への理解や食べ物を大切にすることを育む等の取組を実施	○県立紀北青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・募集型自主事業の中での野外炊事:(随時) ・ピザ作り:1回 ・カツカレー作り:1回 ・バーベキュー:1回 ・シチュー作り:1回 ・パームクーヘン作り:1回 ・カレードリア作り:1回 ○県立白崎青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・募集型自主事業の中での野外炊事:5回 ・ケーキ作り:1回 ・ピザ作り:1回 ・ジャム作り:1回 ○県立潮岬青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・募集型自主事業の中での野外炊事:2回 ・ケーキ作り:1回 ・ピザ作り:1回	○県立紀北青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・ピザ作り:1回 ・ナンとスパイスカレー作り:1回 ○県立白崎青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・餅つき:1回 ○県立潮岬青少年の家 ・利用団体への野外炊事(随時) ・ピザ作り:1回	こども未来課
		3	和歌山県のご当地「ハートレシピ」を活用した減塩、野菜豊富な食生活の啓発	「心臓に優しい食事」をコンセプトにしたハートレシピを活用し、減塩(食塩相当量は1日6g未満)、野菜豊富な(野菜の量は1日350g以上)食生活を啓発	場所:各県立保健所 実施回数:2回 参加者数:56名	場所:各県立保健所 実施回数:3回 参加者数:41名	健康推進課
		4	在宅栄養士等の研修	地域において、食育の推進が着実に図られるように、栄養指導に当たる管理栄養士等の資質向上を図るため研修会等を開催	(1)対象:在宅栄養士等 (2)実施主体:各県立保健所 (3)実施回数:10回 (4)参加者数:133名	(1)対象:在宅栄養士等 (2)実施主体:各県立保健所 (3)実施回数:3回 (4)参加者数:41名	健康推進課
		5	地域・職域出前講座	地域(保護者会等)や職域(事業所等)が実施する生活習慣病予防などの健康講座へ二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会メンバー(医師会、看護協会、栄養士会等)が講師として出前講座を実施	対象:地域住民、職域(事業所等の職員) 主体:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:16回 参加者数:825名	対象:地域住民、職域(事業所等の職員) 主体:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:2回 参加者数:26名	健康推進課

			事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名
①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	(3)地域における食育の推進	6	子ども食堂の取組支援 (①和歌山子ども食堂支援事業) (②和歌山県子ども食堂応援ネットワーク事業)	① すべての子どもたちが安心して地域の大人とかかわり、社会性をはぐくむ場として、食事を提供し、学習支援や地域交流の拠点となる子どもの居場所づくりに取り組んでいる団体を支援 ② 子ども食堂と地域や行政、食材提供者等の関係機関をつなぐネットワークの構築及びコーディネーター派遣による子ども食堂の活性化	①子ども食堂新規開設、機能強化(学習支援、多世代交流)の備品等購入費用補助・募集期間令和7年5月～令和7年12月 ②令和6年から、県社会福祉協議会へ事務局を委託し、子ども食堂と地域や行政、食材提供者等の関係機関をつなぐ和歌山県子ども食堂応援ネットワークを設立。 (参考:和歌山県子ども食堂応援ネットワーク事業子ども食堂間の交流会(年2回)、開設支援講座(テーマ別で年3回)等を実施。また既存子ども食堂が設立や運営の相談に対応する県域アドバイザー・ヘルプメイト派遣を実施。)	①令和7年12月19日で募集終了 ②県子ども食堂応援ネットワーク事務局を通し、引き続き支援を実施。(参考:和歌山県子ども食堂応援ネットワーク事業)・エピソード大会及び展示イベントを開催(1月)・県域アドバイザー・ヘルプメイトを派遣し、新規設立を支援・HP、オンライン広告を活用した普及啓発	子ども未来課
		7	食育実践地域活動支援事業(再掲)	第4次和歌山県食育推進計画に基づき、地域特性を活かした体験や交流等を通じ、県民自らが食について判断できるようにするための食育推進事業を実施	(事業実施主体) 和歌山市、一般社団法人和歌山県調理師会、公益社団法人和歌山県栄養士会、和歌山県漁業士連絡協議会、「野菜でげんき・和歌山」応援隊、株式会社フーズファイル、伊都地方農業振興協議会、社会福祉法人泉新会、学校法人白鳩学園あやの台幼稚園	引き続き実施	果樹園芸課
②持続可能な食を支える食育の推進	(4)生産者と消費者との交流促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	1	食育・地産地消週間「ふるさと和歌山食週間」の普及啓発(毎月第3月曜からの1週間)	食育推進の一環として、直売所、量販店等における地場産物利用拡大の取組を重点的に推進	・飲食店、スーパー、JA直売所における地場産物のPR及び利用促進 ・のぼり、ポスター等による消費者への周知 「ふるさと和歌山食週間」推進店舗登録状況:90店舗	引き続き実施	果樹園芸課
		2	農業改良普及総合推進事業(地産地消推進事業)	農業者が行う地産地消の取組に対する支援を行い、農業者と消費者がお互い顔の見える関係を構築し、消費者の農業及び地域農産物への理解の促進を図る	・小学生と保護者を対象にした子ども料理教室を開催(1回)。 ・農産物の加工実習(みそづくり体験、ジビエ料理等)を小学校1校、中学校2校で実施した。	一般消費者向けに地域農産物を使った料理レシピの紹介を行った(海南市1回)。 農作物の加工実習(郷土料理、みそづくり)を中学校1校、小学校2校で実施した。	経営支援課
		3	わかやま産品応援店の登録推進	県産品の良さを消費者に積極的にPRするため、県産品を取り扱う登録店舗(小売店、飲食店)の拡大	・紹介冊子やWEBサイト等を活用し、県産品の魅力を発信。 ・事業者訪問時、店舗登録に向けたPRを実施。	・紹介冊子やWEBサイト等を活用し、県産品の魅力を発信。 ・事業者訪問時、店舗登録に向けたPRを実施。	食品流通課
		4	わかやまポンチのお店等登録推進	和歌山の果実を使ったご当地スイーツ「わかやまポンチ」を提供する登録店舗の拡大	・紹介冊子やWEBサイト等を活用し、わかやまポンチの魅力を発信。	・紹介冊子やWEBサイト等を活用し、わかやまポンチの認知度向上及び魅力を情報発信。	食品流通課
		5	循環型社会の構築	食品ロス、食品廃棄物の発生抑制(リデュース)等の取組を行い、循環型社会の推進を図る	・ホームページ、県公式SNS、ラジオなどによる啓発 ・講演会、トークショーの開催 ・フードドライブの実施 ・出前講座の実施 ・環境イベントでの啓発物品の配布 ・事業者登録制度の実施	・ホームページ等による啓発 ・食品ロス削減啓発動画の作成 ・食材使い切りレシピの開発、クッキング教室の開催 ・啓発物品(冊子、三角柱ポップ)の作成	循環型社会推進課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名	
② 持続可能な食を支える食育の推進	(4)生産者と消費者との交流促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	6	食育実践地域活動支援事業(再掲)	第4次和歌山県食育推進計画に基づき、地域特性を活かした体験や交流等を通じ、県民自らが食について判断できるようにするための食育推進事業を実施	(事業実施主体) 和歌山県漁業士連絡協議会、株式会社フーズファイル、伊都地方農業振興協議会、社会福祉法人泉新会、学校法人白鳩学園あやの台幼稚園	引き続き実施	果樹園芸課
		7	食の安全・安心に係る情報の提供	子育て世代(小学1年生の保護者等)をターゲットとして、食の安全・安心に関する総合的な情報を提供	食の安全・安心に関する啓発チラシを作成し、チラシ配付による情報提供を実施 配付小学校数:238校		生活衛生課
				小学校の教職員等をターゲットとして、食の安全・安心に関する総合的な情報を提供	食の安全・安心に関する啓発チラシを作成し、チラシ配付による情報提供を実施 配付小学校数:238校		生活衛生課
		8	和歌山県生鮮食品生産衛生管理システム認証制度	県内の生産現場における生産者等の自主的な衛生管理を推進し、その衛生管理システムを認証することで、より安全な生産物の供給と消費者の生鮮食品に対する安心・信頼につなげていく	生鮮HACCPについて、次のとおり認証 ・マダイ(更新):1件、クロマグロ(更新):1件 ・鶏卵(新規):1件	認証取得を希望するアユ養殖について、1件の新規認証を実施	生活衛生課
		9	食の安全リスクコミュニケーションの推進	食品のリスクについて、消費者・事業者など関係者相互間における幅広い情報や意見の交換を行うことにより、信頼関係を築く	・小学生児童及び子育て世代を対象とした「食の安全親子教室～食品工場へ行ってみよう～」を開催 参加者数:親子14組(30名) 実施日:令和7年8月21日 ・食の安全意見交換会の開催 実施日:令和7年12月20日 参加者数:60名(テーマ:家庭内での食中毒対策)	・食の安全意見交換会の開催 実施日:令和8年3月2日 参加者数:8事業者(テーマ:こども食堂におけるアレルギー対策)	生活衛生課
		10	流通・販売段階における衛生管理マニュアルの導入促進	フードチェーン全体における食の安全の確保のため、「流通・販売段階における衛生管理マニュアル」の導入を促進し、流通・販売における衛生管理の向上を図る	・届出対象事業者への届出制度の周知 ・県民に対し、届出制度及び届出事業者の衛生管理の取組について周知	・届出対象事業者への届出制度の周知 ・県民に対し、届出制度及び届出事業者の衛生管理の取組について周知	生活衛生課
		11	食品表示推進者育成	食品表示に関する知識を有する食品表示推進者を育成するため、表示講習会を開催し、県内食品事業者における積極的な適正表示の取組を促進	食品表示推進者育成講習会の開催 実施箇所:6か所+Web開催1回 参加者数:234名	コンプライアンスに関する講習会(令和7年度食品表示推進者育成講習会のフォローアップ講習会)の開催 実施日:令和8年2月19日 参加者数:113名	生活衛生課
		12	和歌山県HACCPシステム認証制度	コーデックスHACCPに取り組んでいる食品事業者を認証する	認証施設数(11月末) 新規:1 累計:58	認証施設数(3月末) 新規:8 累計:65	生活衛生課
		13	食品衛生監視体制の充実	県民の食の安全確保を図るため、「和歌山県食品衛生監視指導計画」に基づき、食品製造施設等への立入検査や流通食品の検査を重点的かつ効果的に実施	食品衛生監視実施率:49.2%(9月末) 食品検査:908 検体(11月末)	食品衛生監視実施率:100.1%(3月末) 食品検査:1,099 検体(3月末)	生活衛生課
		14	食品表示の適正化推進	食品表示法等に基づく食品表示制度の普及・啓発により表示の適正化を図る	・食品販売店(農産物直売所等)に対する監視指導 ・農産物直売所食品表示講習会等の開催 実施箇所:2か所+Web開催 参加者数:67名		生活衛生課
15	いわゆる健康食品の安全対策	いわゆる健康食品に起因する健康被害を防止するために、県内の健康食品製造事業者を対象に関係法令、品質・衛生管理等の研修会を開催するとともに、県民参加型意見交換会を開催 引き続き県内で製造される健康食品の表示監視等を実施し、県民に適切な商品が選択できるよう情報提供	・パンフレットやHP等による県民への情報提供 ・健康食品の表示監視等を実施	健康食品製造業者研修会(健康食品の安全対策に係る講座)の開催 実施日:令和8年2月19日 参加者数:113人	生活衛生課		

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名
② 持続可能な食を支える食育の推進	(5)食文化の継承	魚食普及活動	漁業関係者(漁業士、漁協青年協議会等)と連携して、魚の触れあい体験や魚料理調理指導・試食を実施することで、児童・生徒の県内水産物や水産業への理解促進を図る	・12月末までに30件、園児、児童1,038人を対象に実施【再掲】	○「WAKAYAMAおさかなPROJECT」の実施 魚食普及や県内の漁業・水産物に関する情報発信を行うためにイベントを実施 実施日:令和8年1月24日(土) 実施場所:イオンモール和歌山 実施内容:まぐろ解体ショー ちりめんモンスター探し 和歌山県の古くからの漁業について学ぶ ワークショップの開設 等 ・マグロ解体ショーは2回行い、1回につき約500人に試食用として無償で提供。 ・ちりめんモンスター探しは5回行い、1回につき12人の子どもを対象に実施。 ○お魚さばき方教室、お魚タッチの実施 ・中学校1校を対象に実施。	水産振興課
		鯨食文化の普及	鯨食文化への理解促進と鯨食文化の普及を目的として、小学生を対象とした出前授業及び学校栄養士を対象とした鯨料理講習会を開催	○クジラ博士の出張講座の実施(一般財団法人日本鯨類研究所と共催) 水産資源としてのクジラ、捕鯨の歴史や鯨食を含む捕鯨文化についての理解を深めることを目的として実施 実施日:令和7年10月9(火)～10(水)、16(木)～17(金) 実施校:柱本小学校(橋本市)、四箇郷・芦原・八幡台・和歌浦・山東小学校(和歌山市) 参加者数:357名	○くじらフェアの実施 捕鯨に対する県民の理解を深めるとともに、鯨食普及により消費拡大に繋ぐ目的として県庁内の食堂でくじら料理を提供 実施期間:令和8年1月13日(火)～1月16日(金) 提供メニュー:くじらのやわらか塩麩竜田揚げ定食 くじらソースカツ丼弁当 ・くじらのやわらか塩麩竜田揚げ定食は4日間で151食販売 ・くじらのソースカツ丼弁当は4日間で187食販売 ○くじら企画展の開催(一般財団法人日本鯨類研究所と共催) 水産資源としてのクジラ、日本人とクジラとの関わり、捕鯨の歴史や鯨食を含む捕鯨文化について解説パネルや標本を通して紹介 開催期間:令和8年2月17,18日 開催場所:スーパーセンターオークワセントラルシティ 和歌山店 ・親子連れやシニア層を中心に2日間で約500人が来場	水産振興課
		食育実践地域活動支援事業(再掲)	第4次和歌山県食育推進計画に基づき、地域特性を活かした体験や交流等を通じ、県民自らが食について判断できるようにするための食育推進事業を実施	(事業実施主体) 和歌山市、一般社団法人和歌山県調理師会、公益社団法人和歌山県栄養士会、和歌山県漁業士連絡協議会、「野菜でげんき・和歌山」応援隊	引き続き実施	果樹園芸課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名	
③ 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進	(6)食育推進運動の展開	1	県食育推進月間の取組(10月) 県や市町村、教育、農林漁業者、食品産業等の食育関係者や団体等関係者が共通認識を持ち、県民運動として重点的に食育推進を実施	○県公報媒体(県民の友、テレビ、ラジオ、県公式SNS)を活用した普及啓発 ○和歌山放送(ラジオ)での普及啓発 ・啓発スポット放送30回 ・ラジオ健康相談での関係各課による啓発 ・ラジオ番組「ボックス」での啓発		果樹園芸課	
		2	わかやま食育情報発信誌「食育通信」の発刊	県民に幅広く食育普及啓発を行うため、和歌山県における食育の取組や関連情報を発信していくことを目的に発刊	○第33号(2025年秋冬号)発刊 時期:令和7年9月 部数:7,000部 内容:農業体験における各団体等の取組について、環境にやさしい食品への関心について、旬のレシピ等	○第34号(2026年春夏号) 時期:令和8年2月 部数:6,000部 内容:各団体等の取組について、消費期限・賞味期限について、旬のレシピ等	果樹園芸課
		3	消費者への情報発信	消費生活の情報誌「くらしのとびら」において食育に関する情報提供、啓発等を実施	くらしのとびら(夏号、秋号、冬号発行、19,000部/回) 食育に関しては、1回実施		県民生活課 (県消費生活センター)
		4	わかやま食育応援隊登録、情報発信	食育活動を行うために、必要な知識・技術・経験をもち、食育活動に協力・支援いただける個人、団体、企業を「わかやま食育応援隊」として県に登録し、その情報をホームページ等で広く提供することにより、学校や地域における食育関係者による連携や継続的かつ主体的な食育活動の展開を支援	通年募集	通年募集	果樹園芸課
		5	食育推進表彰式及び研修会	和歌山県食育推進会議において、食育に積極的に取り組む個人、団体、企業等に対する表彰の実施、及び食育を県民運動として展開することを目的とした研修会を開催		令和6年度和歌山県食育推進表彰式及び食育推進研修会 日時:令和8年2月10日(火) 13:30～16:00 場所:アパローム紀の国 内容:食育推進表彰式・事例発表 講演「ナッジで変わる食の選択 ～現場で使える食育のヒント～」 講師 畿央大学 健康科学部 健康栄養学科 講師 野原 潤子氏	果樹園芸課
		6	ホームページによる食育情報発信	和歌山県食育ひろば 県民の食育に対する意識を高めるため、行政、関係機関・団体等の食育に関する各種情報をホームページを利用して総合的に発信 ・食育関連行事紹介 ・農林水産物を通じた食育・地産地消に関する情報 ・わかやま食育応援隊に関する情報 等	情報の整理及び、新着情報を随時更新	随時情報を更新	果樹園芸課
				和歌山の水産物の旬や水揚げされる場所、食べ方、漁業等をホームページを活用して紹介	和歌山の水産に関するデータを更新	随時情報を更新	水産振興課